

北海道南幌高等学校だより



南高不惑

校訓 「自主 自律」

北海道南幌高等学校

☎069-0238

南幌町元町3丁目2番1号

TEL:011-378-2248 FAX:011-378-2629

<http://www.nanporo.hokkaido-c.ed.jp>

■「さようなら」に込められた思い

校長 矢橋 佳之

3月は別れの季節。卒業式で8名の卒業生を送り出し、本日行う離任式では5名の教職員とお別れします。

皆さんはこれから生きていくうえで、いくつもの出会いと別れを繰り返していかなければなりません。“今のまま”をずっと続けていけばさみしさを感じずにいられるかもしれませんが、それではお互いに何の変化も起きません。次の活躍を期待し、さみしいけれど笑顔でお見送りしましょう。

さて、日本語ではお別れのときに「さようなら」と言います。

世界の別れの言葉は大きく分けると、①神に相手の無事を願う(例: **good bye = God be with you** “神があなたとともに”の短縮形)、②再会を願う(例: **See you later** “また会いましょう”)、③相手の健康を願う(例: **Farewell** “うまくやっていってください”)の3つとなるそうです。

実は日本語の「さようなら」はこの3つのいずれにも該当しないと分析されています。

「さようなら」の語源は「左様であるならば」にあり、「そうであるならば、(お別れしましょう)」という意味です。そう考えると、「さらば」も、北海道弁の「したっけ」も似たような言葉が語源となっています。

日本語だけ「そうであるならば」という接続詞だけで、結論を言っていないということが特徴です。

では、まず「そうであるならば」は何を指しているのでしょうか。

これは出会ったときの挨拶「こんにちは、元気ですか。」と関係があるそうです。「こんにちは」とはいくつかの地方で「今日様」と呼ばれている“太陽”を意味しています。「元気ですか」の「元気」とは、元の気(エネルギー)のことですから、“太陽のエネルギー”を指すこととなります。

つまり、私たちが太陽のエネルギーが元で生きている体であることを自覚して、「太陽さんと一緒に明るく生きていますか?」という確認の挨拶が「こんにちは。元気ですか。」に込められた思いです。

これを受け、「太陽さんと一緒にやっているのであるなら、気分は上々ですね。」という意味で「さようなら、ご機嫌よう」となったのだそうです。

ちなみに、平安時代の竹取物語の「さらば、いかがはせむ(そういうことであるならば、しかたありません)」、源氏物語の「さらば今日こそは限りなめれ(そういうことであるならば、今日でお別れです)」などの表現が見られますが、「さらば」の前には詳しい状況が説明されており、その現状を受け止めたうえで、次のステップに進む人を納得して送り出そうとする気持ちが表現される場面で使われています。このような使われ方をしている間に、「さらば」「左様ならば」に別れのイメージが定着し、「お別れしますね」の部分を省略した「さようなら」が別れの言葉として使われるようになったということのようです。

わずか5文字の「さようなら」には、お別れまでの今までを振り返りつつ、“そうであるならば”と現状を受け止め、未来に向けてこの先は…と期待する気持ちが込められているのです。

退職・転出となる教職員

青島 正樹教頭：福島商業高校(教諭)へ

土永 敬子教諭：札幌白陵高校へ

奥田 志保教諭：札幌東陵高校へ

岩澤 雅人教諭：再任用終了

太田 静男事務主任：札幌東高校へ

※上津隆路教諭、神谷典江養護教諭は定年退職となりましたが、来年度も本校で再任用されます。

参考：境野勝悟『日本のこころの教育』

NHKテレビ「チコちゃんに叱られる！」

(平成30年3月8日放送)

■お世話になりました。

この春の人事異動で転出されるみなさんから
教頭 青島 正樹

短い時間でしたが、みなさんと一緒に学校生活を過ごすことができ、嬉しかったです。これからも南高不落の精神で頑張りましょう。ありがとうございました。

教諭 土永 敬子

7年間お世話になりました。この間生徒からいろいろなことを学ばせてもらい、PTA 活動では保護者の方に沢山のご協力をいただきました。おかげで、楽しい毎日を過ごさせていただいたことに心から感謝申し上げます。今後もピュアホワイトなど買いにやってきましたら一声かけていただければうれしいです。それから、保護者の方々にはあと少しいっちーとPTAへのご協力をおねがいいたします。

教諭 奥田 志保

南幌高校では13年間お世話になりました。保護者の方、地域の方にも大変お世話になりました。おかげさまで、生徒とともに私自身も成長することができ、充実した楽しい時間を過ごさせていただきました。これからの南幌高校も応援しています。生徒の皆さんは「南幌高校だから出来ること」がたくさんあると思いますので、高校生活を楽しんでほしいと思います。ありがとうございました。

教諭 岩澤 雅人

あっという間の2年で南幌高校にさよならすることをお許しください。同時に40年続けたこの仕事に区切りをつけることにしました。2年前、前任校で定年を迎えました。その時は、自分でも驚くほど淡々とした気持ちでしたが、今回は違います。今月に入ってから、何とも表現しがたい心のざわざわが続いています。

そうか、これが「万感の思い」ってやつなんだ。ここでもまた、初めての経験をすることができました。いつまでたっても学べることは限りなくあるものです。ありがとうございました。南幌高校。生徒の皆さんさようなら。

事務主任 太田 静男

2年間の短い間でしたが、いろいろとありがとうございました。定時制から全日制に来て、また定時制に戻ることにしました。3月初旬の猛吹雪では自然の厳しさを感じさせられました。みなさん、健康に注意をはらい、高校生活を楽しんでください。

◆卒業生講話 (3月11日)

卒業生3名からお話を聞き、進路について考える貴重な時間となりました。



◆南幌学話し方講座 (3月15日)

話し方のノウハウを教わりました。わかりやすく伝えることの難しさを実感しました。



◆保育実習1年 (3月17日)

子ども達の前で、太鼓やダンスなどの発表をし、楽しく交流することができました。



◆コミュニケーションUP講座 (3月18日)

人間関係をスムーズに築くための雑談力を学びました。



◆住居講座 (3月22日)

建築について知識を学び、一人暮らしを想定した自分らしい間取りを考えました。



■4月の行事予定

- 8(木) 着任式、始業式
- 9(金) 尿検査
- 12(月) 身体測定
- 13(火) 進路希望調査3年
- 16(金) 基礎力診断テスト
- 24(土) 授業日、PTA 総会
見学旅行説明会
- 26(月) 振替休業

